

～パネル展～

軍隊は女性を守らない

沖縄の日本軍慰安所と米軍の性暴力

～制作:wam アクティブ・ミュージアム 女たちの戦争と平和資料館～

2025年 5月2日(金)12時～ 5月15日(木)18時まで

5/3(土)～5/14(水) 9:30～22:00 開館時間

合人社ウェンディひとまちプラザ 南棟 1F ロビー

広島市中区袋町 6 番 36 号

◆参加費:無料



軍隊は住民を守らないーこれはアジア太平洋戦争末期に国内で唯一、住民を巻き込んだ地上戦が行われ、県民約12万2000人を喪った沖縄が、甚大な犠牲を払って学んだ教訓であり、沖縄戦の本質を語る言葉です。日本軍第32軍司令部にいた神直道航空参謀が「住民を守ることは作戦に入っていなかった。住民は足かせになった」と証言したように、沖縄は本土防衛のための「捨て石」とされました。軍隊は住民を守るどころか、人々に「根こそぎ動員」や住民虐殺、「集団自決」などを強いたのです。

時を経て2012年の現在、住民がこぞって反対するオスプレイを強行配備した米軍にも、同じ言葉が浴びせられています。「軍隊は約束も、住民も守らない」。

そして沖縄の戦中・戦後を仔細に見ていくと、もうひとつ明らかになるのが、「軍隊は女性を守らない」という事実です。
(wam カタログ はじめにより引用)

《パネル内容》

沈黙の声ー米軍の性暴力に抗して

1945年米軍上陸後からの米兵による性暴力被害者の生々しい声が特大(3400mm×1200mm)サイズで掲示
島々の慰安所マップー戦時中、沖縄には145カ所の慰安所が設置された

- 沖縄の歴史と日本軍の侵略ー琉球王国時代/近代沖縄の女たち/沖縄戦、あまりにも大きな住民被害/動員された少年・少女たち/住民に強いられた「集団自決」
- 日本軍による性暴力被害ー沖縄への日本軍の配備と慰安所設置/「慰安婦」にされた沖縄・九州の女性たち/第32軍司令部壕にいた女性たち/辻遊郭の歴史/証言/上原英子・裴奉奇(ペ・ポンギ)・兵士/島々の慰安所マップ
- 戦後も続く性暴力ー敗戦・占領と「慰安婦」にされた女性たち/沖縄・女たちの戦後/米軍長期駐留下の女性に対する暴力/米軍の駐留と日本の責任/沖縄から始まった慰安所調査/女性国戦犯法廷/沖縄戦の記憶をめぐる攻防等

～第九条の会ヒロシマ会報でお知らせしたパネル内容と変更になっています～ご注意ください

主催:日本軍「慰安婦」問題解決ひろしまネットワーク 共同代表:足立修一・田中利幸・土井桂子

連絡先:090-3632-1410(土井)

E-mail:ianfnet.hiroshima@gmail.com